

たとえば，図 9-4 は，以下の式で得られた $z=f(x, y)$ を平行投影した図です。

$$f(x, y) = \frac{\sin \sqrt{x^2 + y^2}}{\sqrt{x^2 + y^2}}$$

しかし，隠れた線まで表示されています。そこで，見えない線を消すと，より見やすくなるはずです。この見えない線を消すことを**陰線消去**と呼びます。図 9-5 は，図 9-4 に対して陰線消去を行った結果です。

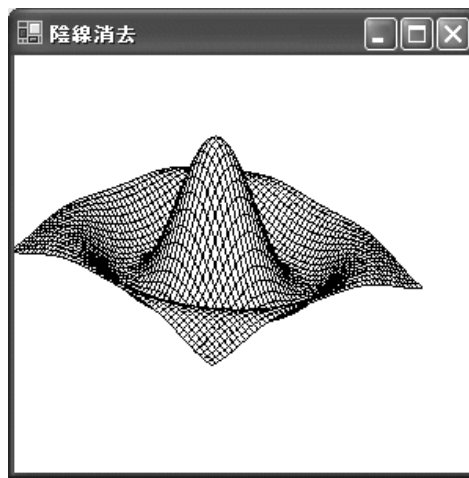


図 9-5 陰線消去の例

(2) 浮動水平線アルゴリズム

ここで示す方法は，**浮動水平線アルゴリズム**または**最大最小法**と呼ばれる方法です。その手順の概略は，以下のとおりです。

- (a) 一番，手前から描く。
- (b) 現在描いている曲線の 1 点の Y 座標が，それ以前に描かれた曲線の最大 Y 座標値より大きければ(水平線より上に位置すれば)，その点が見えるものとして描く。

すなわち，図 9-6 のように手前から順に，描きませんが，実線の部分は，先に描かれた 2 次元変換後の Y 座標より大きいので描かれ，点線の方は小さいので描きません。